

お手つだい大せんせん

落合小学校 一年

仁谷 悠生

ぼくは、夏休みに、せんたくものをたためるお手つだいをします。おとの大きいふくは、たためるのがむずかしいです。シャツをたためるのが一ぱんかんたんですね。一年生のときからお手つだいをしているので、たたんだふくを入れるばしょもぜんぶわかります。たくさんあるので、まい日しておばあちゃんは、すうじなど思います。せんぶがんばって手つだおうと思ひます。

「うぬジユースをのもうや。」

と言ひます。ぼくはレモンジユースの方があさきなので、

「きょうはレモンジユースがほしいな。」

と言つたら、レモンジユースをついで、その中にこおりをいっぱい入れてくれます。お手つだいのあとのジユースは、つめたくてとてもおいしいです。みんなおじいちゃんがかえってきた

ら、じほりびに十円くれるのうれしいです。おじいちゃんは、にわの花やはっぱを食べる虫をつかまると、おこづかいをくれます。バッタが五円、イナゴが十円、大きいバッタといナゴがとくべつボーナスで、二十円です。そとはとてもあついので、ぼうしをかぶつて行きます。ひまわりのはつぱによく小さなバッタがついているので、がんばつてとります。

おじいちゃんが、「よくがんばったなあ。ありがとう。」と言つてくれるで、またがんばりうと思ひます。

ぼくは、お手つだいをしてもらつたおじいかいをためて、ほしいおもひやがあります。でも、おかあさんが、「まだつかいしちゃだぬ。」

と言つるので、買えないかもしれません。だけど、おじいことをがんばつているおかあさんには、「うびを貰つてあげようと思つます。